

安全衛生点検票の集約システム

○千代谷一幸^{A)}、青木延幸^{B)}、高井章治^{C)}

A) 工学系技術支援室 情報通信技術系

B) 教育・研究技術支援室 環境安全技術系

C) 現 未来社会創造機構テクニカルサポート室

概要

安全衛生規則 第十一条「衛生管理者の定期巡視及び権限の付与」に基づき、名古屋大学では平成 25 年 4 月「名古屋大学東山事業場における職場等の安全衛生点検及び巡視ガイドライン」を発効し、全ての施設の安全衛生点検および巡視を定期的実施することになった。この巡視ガイドラインでは、「作業管理責任者等が、担当する研究室・実験室・教室・事務室等の安全衛生について毎週 1 回以上の頻度で自主点検を行い、安全衛生点検票に結果を記録する」ことになっており、また、衛生管理者はその点検票の回収・確認を行うことになっている。工学部には管理対象である研究室等が 200 以上あり、衛生管理者は専任ではなく他に通常業務を行っていることもあり、点検票の回収・確認作業がかなりの負担になる。そのため点検票を WEB 上から回収できるようにして、回収・確認作業の負担を減らし、同時に自主点検の実施状況を簡単に確認することができるシステムの作成依頼があった。今回はこの点検票の集約システムを紹介する。

1 点検票の回収

点検票回収のため研究室、事務室など管理対象ごとに ID を設定してあり、提出する点検票のファイル名には点検日を使用することになっている。集約システムには WEB ブラウザを利用して図 1 のようなログイン画面からアクセスし、図 2 のファイル選択・送信画面から点検票を提出する。提出された点検票は最近一ヶ月分が画面上に表示されており、ファイル名が点検日であるため各週の提出状況がわかるようになっている。



図 1. 集約システムへのログイン画面



図 2. ファイル選択・送信画面

もし点検票に訂正等があって再提出の必要がある場合は、修正後に再送信することによって提出済みの点検票との置き換えが可能となっている。点検票が提出されたら管理対象の ID、ファイル名などがデータベースに登録される。

2 点検票の確認

衛生管理者が集約システムにログインして最初に表示される画面には、新たに提出された点検票が一覧表示される（図 3）。提出されたファイル名には自動的に管理対象の ID が付加され、ID_日付のように変更して保存されている。ファイル名の右側にある日付欄はファイル名から取得した日付であり、提出時に点検日としてデータベースに登録されている。ここで一覧にあるファイル名をクリックすると Excel が起動して点検票を表示・確認することができる（図 4）。



図 3. 提出された点検票の一覧

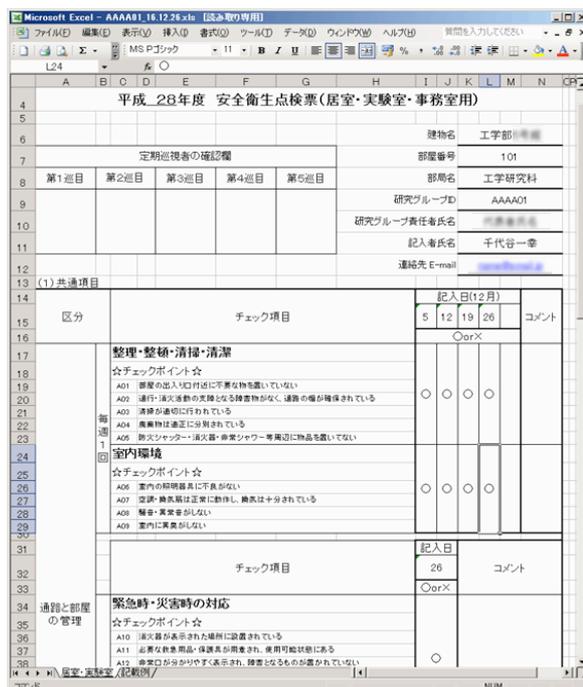


図 4. 点検票の表示



図 5. 点検票確認後の一覧

そして一覧の右側にある「確認済」ボタンを押すことで、衛生管理者による点検票の確認が行われたことがデータベースに記録され、この一覧表には表示されなくなる（図 5）。同時に一時的に点検票が集約されているディレクトリから研究室ごとのディレクトリ内にそれぞれ点検票の移動が行われ、必要な期間保管される。この保管された点検票は FTP によってダウンロードすることができる。

点検票は図 6 のように管理対象の週ごとの提出状況を一覧表示する。「×」が表示されている未提出である週が一目でわかるようになっており、点検票未提出の確認作業による負担が軽減できる。ここでも提出済みを示す「◎、○」をクリックすると Excel が起動して点検票を表示することができる。

研究グループID	責任者	点検者	11/21-	11/28-	12/5-	12/12-	12/19-	12/26-	1/2-
AA1	責任者	千代谷一幸	×	×	×	×	×	×	×
AA10	責任者	千代谷一幸	×	×	×	×	×	×	×
AAAA01	責任者	千代谷一幸	×	◎	◎	○	○	○	×
AAAA02	責任者	千代谷一幸	×	×	×	○	○	○	×

図 6. 点検票提出状況確認画面

点検票は 3 年間の保管義務があるが、このシステムでは保管期間を 5 年間に設定してある。保管期間を過ぎた点検票は、実際には削除せずに削除済ディレクトリに移動するようになっている。

3 まとめ

この点検票の集約システムの依頼を受けてから数回仕様変更があったが、動作テストの後、平成 25 年 12 月の第一週から本稼働を開始することができた。稼働開始から 3 年が経過したが、トラブルもなく現在に至っている。

依頼された仕様には無いが、点検票から自動的にデータを読み出してデータベースに登録することができれば、ブラウザで点検データを直接見ることができるようになり、より使いやすくなる。しかし点検票のフォーマットは研究室等の状況に応じて変更が可能であり、それに伴いデータをセットするセルも変更されている可能性があるため提案することができなかった。

衛生管理者の方に負担の軽減につながっているか伺ったところ、未提出の研究室に対してメールでその都度勧告しなければならないので、未提出の研究室に自動的に警告メールを配信できると良い。また、e-learning 研修のように対話式で提出できるシステムの要望が多いということもお聞きした。今後、より負担の少ないシステムにできないか検討してみようと思う。